

平成 28 年度「市民と議会の意見交換会」報告書

平成 28 年 8 月

作成

責任者 燕 昌克

開催日時	平成 28 年 8 月 9 日（金） 午後 6 時 30 分 開会 ～ 午後 8 時 21 分 閉会
開催場所	は一とふる
出席議員	野崎良夫議長、村上均副議長、土田悦也議員、澤井篤司議員 笠原昌史議員、米倉靖夫議員、燕昌克議員、鶴城雪子議員 川口宏和議員、小野敏雄議員、野呂照幸議員、戸水美保子議員 珍田亮子議員、坂本茂議員、村山ゆかり議員、坂本守正議員
参加人数	49 名
質問等の要旨及び回答の要旨	<p>1 開会（司会者燕議員）</p> <p>2 議長あいさつ</p> <p>3 出席者紹介（司会者）</p> <p>4 意見交換</p> <p>（1）かずの子条例について （かずの子条例制定検討委員会 委員長からの説明）</p> <p>高校生 地元の食材を給食に取り入れることは良いと思う。</p> <p>高校生 かずの子は普段食事に出ない印象があるので、それをもっと家庭的なものにすると小学生でもわかる食べ物になると思う。</p> <p>委員長 地産地消という言葉が昔からあるが、かずの子に関しては飲食店に行ってもメニューになければ食べることができない。地元の関係業界の方々や、皆さんと連携して、かずの子の普及に努めたい。かずの子の名は留萌の地名に非常に大きな役割を果たしていると思うが、どのようにお考えか。</p> <p>市民 こういう条例も素晴らしいと思うが、実際、かずの子がどれくらい作られているか、かずの子の成分やカロリーなど、条例みたいなむずかしいことも大事だと思うが、具体的に市民が市外の人に</p>

詳しく説明できるようになるのが理想。市民がかずの子についての詳しく知ることの土壌を作り、“ためしてガッテン”などのメディア戦略することも良いのではないか。まず、市民がかずの子について詳しく知ることが大事だと思う。

委員長 この条例をきっかけにきちんと話し合える場を作りたい。

市民 条例ありきで進んでいる気がする。長期的な、短期的なビジョンをお持ちか。

委員長 この条例を实际活用して、色々具体的に考えたい。この条例の中に具体的なものは入っていない。

市民 この条例を走らせて、留萌がかずの子のまちとして、留萌市民、市、管外にも発信できるようなスパンとかスケジュールを考えているか。

委員長 具体的なスケジュールはない。ただ、これをきっかけにして、どのような具体的な活動が出来るのか、関係業界の皆さん、行政を含めて、これからやっていかなければならないと考えている。

(2) 総合計画について

(村山副委員長よりテーマ説明)

グループ討議：別紙（A、B、C班）

(3) その他

市民 今回、広報誌を見て、初めて参加した。このぐらいの人数しか参加していないのが残念。知っている人に声を掛けるだけではなく、各町内会とか近所の人とかもっとアピールして多くの人に参加してもらった方が良くと思う。今後、このような形式だけではなく、家にいて意見のあるおばあちゃんの声とか、組み入れないと数の子条例とか、こういうことも広まっていけないのではないか。

議長 貴重な意見をいただいた。これまでの反省点としては、このよう

なことを行ってもなかなか多くの人が集まらない。今回は多くの企業、団体に声を掛け、約140の町内会にも案内をして、このように集まっていた。しかし、1人でも多くの市民の皆さんに参加していただき、多くの意見が私共の様々な活動に、また、市の施策に反映できる場をこれからも考えていきたい。よろしくお願ひ致します。ありがとうございました。

市民

初めて参加して、私なりの意見を述べさせていただいたが、これからのフォローアップが全くないと伺ったが、せっかくABCとテーブルを分けて行ったので、この結果をまとめて情報を流してはどうか。次は女性中心で行うとか、色々な方を集めて耳を傾けて、もっともっと発信して欲しい。高校生もいるので、携帯で仲間に発信して広めてもらうとか、色々な情報として流すのも手かなと思う。この交換会が1回で終わること、2回～3回と続けて、実のあるものになればここに参加した皆さんも来た甲斐があると思う。これが良い方向に傾くようお願いしたい。

議長

ただいまのご意見は貴重だと思う。今後、皆さんから受けたことをどのように発信していくか、形にしていくかをこれから各々の機関の中で調整をしていきたいと思う。

5 まとめのあいさつ（副議長）

6 閉会

※ 質問等の要旨及び回答の要旨は、別紙でも可